

# 忘れ涙のエピローグ

鶴崎ひろし

コロンの匂いが 少しだけ  
何故か気になる 古びた手紙  
別れの辛さも 苦しきも  
重ねる季節に 消えてゆく  
窓打つ風の トレモロは  
忘れ涙の エピローグ

結婚するのと うっむいて  
涙を零した 女の姿  
気弱い男が そこにいて  
行くなど言えない かいしよなし  
笑顔の女性のアルバムに  
忘れ涙の エピローグ

五弦の切れ端 . . .